

Doc. No.: NR080317-2

2008年3月17日

世界最大の版サイズに対応するCTP装置を開発 ～欧米諸国の多彩な広告メディアの成長を担う～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)はこのほど、世界最大の版サイズに対応するサーマルCTP装置[※](印刷用刷版描画装置)「PlateRite Ultima 48000 (プレートライト アルティマ 48000)」を開発しました。

近年先進諸国では、商品の多品種化やライフサイクルの短期化に伴い、広告メディアも通信販売用カタログやフリーペーパーをはじめとする多様化が進み、また発行頻度も増大しています。そのため印刷業界では、多品種・短納期への対応、そして生産効率の向上への取り組みが活発になっており、大手の各印刷会社では、多様な印刷物の多面付けにより一度に大量の印刷が可能な、大判のオフセット輪転印刷機の導入が検討されています。

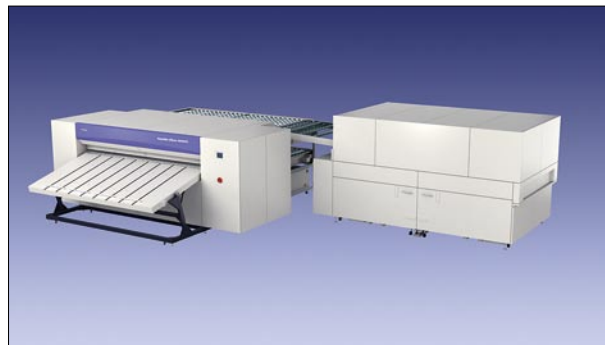
このような動向を背景に当社は、従来のサイズを超える大型の印刷用刷版(プレート)に対応可能なサーマルCTP装置の開発に、いち早く着手。このたび、CTPシリーズの新機種「PlateRite Ultima 48000」を世界市場に向けて投入します。この装置は、最大2,900×1,350mmという、A4サイズ96ページ分の輪転印刷に対応する世界最大の超大型刷版への描画が可能で、普及が期待される大型輪転印刷機の生産性を最大限に引き出すことができます。また、設置スペースなどを抑えながらも80ページに対応する「PlateRite Ultima 40000」も同時に開発。最大2,280×1,600mmの刷版の出力が可能な装置となっています。

当社は、世界トップシェアを誇るCTPシリーズのラインアップに、今回開発した「PlateRite Ultima 48000」「PlateRite Ultima 40000」を加え、CTP装置のさらなるシェア拡大を目指します。そして、CTP市場のあらゆるニーズを網羅する体制の一層の強化を図り、世界の印刷・製版業界におけるリーディングカンパニーとして、今後ますます多様化するユーザーニーズに応じていきます。

※ サーマルCTP装置

コンピューターで制作した印刷用データを、高出力の近赤外レーザーを使って、表面加工が施されたアルミ製の印刷用刷版に直接描画する装置。フィルムに出力し刷版に焼き付ける従来の工程を省略できる。また、すべてをデジタルで処理するため、常に安定した高品質な印刷が可能。

* これらの装置は、5月29日から6月11日までドイツ・デュッセルドルフで開催される国際総合印刷機材展「drupa 2008」でご紹介し、販売を開始します。



PlateRite Ultima 48000

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)

<国内希望販売価格>

PlateRite Ultima 40000/48000 : オープン価格

<販売開始時期>

PlateRite Ultima 40000/48000 : 2008年6月 (PlateRite Ultima 48000は受注生産)